

こんにちは事務局です

理事会報告(令和7年度 第3回理事会) 2025.9.20

- I あいさつ
- II 決議事項
 1. 育児・介護休業等に関する規程改正について(改正案)
 2. 常任委員一部変更について
 3. (仮)第2庁(医療福祉拠点)への入居部門の変更について
- III 報告事項
 1. 重点事業の中間報告(進捗)について
 2. 地区支部活動中間報告について
 3. 推薦委員会手順書について
 4. 滋賀県知事等への要望について
 - 自由民主党滋賀県議会議員団 6月3日
 - 滋賀県議会チームしが県議団 8月25日
 - 滋賀県知事(案) 9月22日
 5. 業務執行理事活動の報告
- IV その他
 1. 女性のつどい 出席について(11月8日)

《注意喚起》

看護職も被害有! ニセ警察官詐欺にご注意ください!!

滋賀県警察本部より、看護職に知らせてほしいと依頼がありました。現在、偽警察官詐欺が県内で急増しており、**看護職の皆様にもその被害が及んでおります。**被害に遭わない様、皆様十分お気を付けください。

滋賀県看護学会のご案内

第28回
滋賀県看護学会
大会テーマ
**しあわせに働く
しあわせを届ける
看護職**

日時	2025年12月4日(木) 9:00~16:30	お申し込み
場所	滋賀県看護研修センター	会場参加
方法	ハイブリッド開催 (会場・Zoom)	Zoom参加
プログラム	午前：研究・実践報告、交流会 午後：基調講演、シンポジウム	参加登録期間：10月1日~10月31日 定員になり次第締切
◆ 基調講演	「看護職のウェルビーイングについて考える」 講師 武蔵野大学 ウェルビーイング学部 教授・学科長 秋山 美紀 氏	参加費 3,300円 看護学生は無料 <small>午後は県民の皆様にも公開します 詳細はお問い合わせください</small>
◆ シンポジウム	「しあわせに看護する」	

公益社団法人 滋賀県看護協会



みんなに伝えたい事、聞きたい事、募集します!

先輩ナースから…

- 〇〇年目の後輩ナースへ今だから伝えたい事
- 私が辛い時期を乗り越えた方法
- 私の病院、病棟自慢 など

後輩ナースに…

- どんな職場で働きたいと思う?
- 後輩ナースの本音、現場では聞けないこと
- 心理的安全性を感じた瞬間は? など



一言でも
文章でもOK!

◀ 投稿はこちらから

採用された方には
クオカードプレゼント



Nurse Lake

広報紙「ナースレーク」



Vol.168

2025年10月

公益社団法人
滋賀県看護協会



浮御堂とかんごちゃん

CONTENTS

《一番星見つけた!》	
看護師10年目、キャリアの岐路……………2	Voice ~これからの看護職に期待すること……………6
多職種協働の成功事例 多職種協働を成功させるためのヒント…3	医療安全通信……………7
地区支部だより……………4~5	新型コロナウイルス5類移行後の感染症対策Q&A…8~9
認定看護管理者教育課程ファーストレベルでの学び!…6	滋賀県ナースセンター……………10~11
	こんにちは事務局です/滋賀県看護学会案内/募集案内…12

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声(ご意見・ご感想)」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック! ▶次回発刊は1月中旬予定です。

発行所 ●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者 ●会長 草野とし子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998
https://shiga-kango.jp/

モバイルサイト



滋賀県看護協会

検索

三方よし精神で 看護の力で
滋賀を元気に!
一住み慣れた地域で健康に暮らせるために

滋賀県看護協会会員数(令和7年9月7日現在)

保健師/ 290人 助産師/ 344人 合計 8,821人
看護師/ 8,077人 准看護師/ 110人

看護師10年目、 キャリアについて考えていること

社会医療法人誠光会 淡海ふれあい病院 中村 真紀

【私の看護師を続けられる理由】

地域包括ケア、消化器内科、医療療養などを経験し、患者さんの回復や人生の最終段階に寄り添う看護に深いやりがいを感じてきました。特に医療療養では、長期にわたり同じ患者さんと関



わり続けることで信頼関係が深まり、ちょっとした変化にも気づきやすくなります。細やかなケアを積み重ね、生活の中で本音を聴くことができ、その方らしい時間を支えることが、長期的な看護の魅力だと感じています。

【勤務継続の危機となったこと】

現在、看護師13年目であり、これまでに2回育休を取得しました。復職後は、別々の保育園への送迎や行事の調整など困難も多くありましたが、義母や夫の支え、職場の温かな雰囲気のおかげで乗り越えられました。配慮ある上司や「お互いさま」と言ってくれる同僚の存在、夜勤免除制度にも支えられ、今は子どもも成長し、家族の協力も得ながら働き続けられています。

【今後のこと】

今後、挑戦するとしても、患者さんの人生に伴走するような看護ができる職場で働きたいと思っています。

看護師10年目、 キャリアの岐路

一番星★
見つけた!

看護師10年目、 キャリアについて考えること

市立大津市民病院 大伴 綾花

看護学生の頃、印象に残る学びのひとつに、「家族を看ていると思って看護しなさい」という言葉があります。入職し、配属された部署は、臨床実習では実習していない集中治療部でした。初めて見る医療機器、めまぐるしく展開する治療処置に、ただ早く仕事を覚えること、担当する患者に向き合うことで精一杯でした。その頃のわたしは、「患者に信頼される一人前の看護師になりたい」という目標がありました。

そうして、中堅看護師となり、ふと周りを見渡すと、新たなことに挑戦している同僚の姿があり、尊敬の念を抱きながらも、焦る気持ちも経験しました。「いったい、わたしは、何がしたいのか」と、自問しては、自分ひとりでは答えが出せない日々が続いていました。

そんな中、令和6年能登半島地震がおこり、災害支援ナースとして現地に派遣される機会を得て、被災地の医療施設の看護職員として活動しました。この経験から、「患者に信頼される一人前の看護師になりたい」という願いに、まちがいはなかったと思

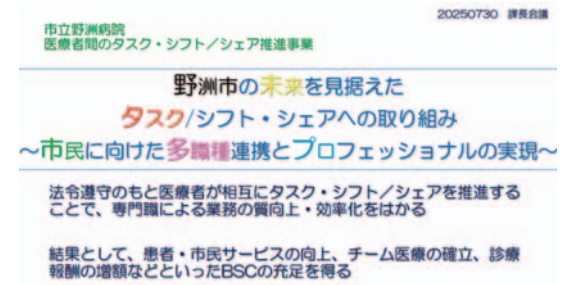


うことができました。

今のわたしは、業務が繁忙になると患者に優しくなれないところがあり、患者ひとり一人に対して家族を看ていると思って看護が実践できているのか、このまま、看護師を続けていて良いのかと迷うこともあります。しかし、職場環境に恵まれ、わたしの気持ちに寄り添ってくれる同僚や先輩看護師もいます。自分のネガティブな心境は、患者・家族や職場のみんなにも影響すると思います。これからは、その日の最大の力を出し切ることを大切に、自分の心の声に耳を澄ませながら、焦らず、自分らしく、わたしの大切にしたい看護を模索していきたい思います。

当院は人口約5万人の地方自治体が設置する199床の一般病院です。地域に根ざす姿勢を基本として、「身近で親しみのある市民のための医療機関となるよう努める」という方針のもとに、急性期、地域包括、回復期、維持期の機能を発揮して、高度急性期病院と在宅医療に対する後方支援の役割を担っています。当院においても、近年の医療動向に同じくして、医師や看護師をはじめとする人材不足は例外ではなく、医療者確保と同時に組織的な業務改革を喫緊の課題としていました。

2021年9月に厚生労働省医政局より「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」が通知され、これを転機と捉え病院事業として取り組むこととなりました。自身はリーディングの役割を頂き、CNAとしての管理目標を「病院の将来を見据えたタスク・シフト/シェアによる仕組みの構築と、中間管理者のスキル向上にむけたマネジメント」と設定しました。病院幹部によるキックオフと同時に、前段階として立ち上げた病院の全課長職による会議を実践拠点としました。ここでは様々な課題解決を図ると共に、リーダーシップ論や問題解決法などの看護管理にかかるスキルを他職種の間接管理者に広めて育成することを目的としています。そして、課長職会議から医療技術部・事務部を含んだ論理的思考をもつ者をコアメンバーとして選抜し、計画のコンセンサスを得ながら各自が役割意識をもって取り組めるように調整しています。これはホーン効果をねらいとしたものですが、コアメンバーは期待以上にファシリテートの役割を発揮して、全体のモチベーションも向上することができました。早い段階で「胸痛時：心電図12誘導」「高熱・低体温時：血液培養2セット・尿培養採取」「尿閉時：エコー下残尿測定と導尿・尿道留置カテーテル挿入」など、看護部からのプロトコルと、業務改善フローを提示しながら、テーマ・内容・必要条件・関連職種等をフォーマット入力する方式で各課が自由に提案できるようにしました。次の段階で、①プロトコル化または業務フローの検討 ②法的根拠のクリティーク ③メリット・デメリットの抽出 ④進め方の検討といった視点でワーキングと報告会での共有と承認を



実施しました。トップダウンとボトムアップの融合の利点を最大限に発揮できるよう努めた結果、看護部では10種のプロトコルやPOCR・NEWSスコアの導入など多くの業務フローが整備されました。多職種では9種のプロトコルや、10種を超える業務フローが整備され、それまで当院に無かった病棟クラークの配置により、看護がベッドサイドで専門性を発揮しやすい環境が整いました。

また、当院では初となった臨床検査技師や診療放射線技師、社会福祉士等の新卒者の受入れを機会として、2024年度より、全職種の新卒を含む新入職員を同期として位置づけた多職種連携教育（IPE）を導入しています。看護部では「新人看護職員研修ガイドライン」に準じて改訂した新人教育システムを平成22年より導入していますが、その成果より看護教育のノウハウを他職種の新卒に活用できると確信しています。「新入職員は病院の宝」と題して、「10年程度の近い未来を見据えた医療者育成」を共通言語に、職種を超えた仲間として共に学び繋がることと、入職時からタスク・シフト/シェアの視点を育むように通年したプランを実践しています。今期で2年目となるシステムのもとに、新卒者達は職種を超えて公私ともに同期の絆のようなものを形成しています。

多職種協働を成功させるためのヒントとして、「日頃からの関係性とコンセンサスを重視する」「共通の目標、共通言語、コンセプトを明確にする」「相手の『言葉』を知り、役割の違いを理解して尊重する」「感謝と承認・フィードバックを忘れない」「風土を読み、時に鈍感力を発揮する」等々を意識していますが、CNAとしての信念は「看護管理のスキルを多職種に広めることで組織は活性化できる」と考えています。

多職種協働を成功させるためのヒント

多職種協働の成功事例

市立野洲病院 西村 裕二

第1地区支部

支部長/北川 有紀

滋賀県看護協会の重点事業項目に基づく事業

重点1. 看護実践能力の強化

- 7/12④開催 第1地区支部集会/第1回研修会(参加者56名):メンタルヘルス研修「誰もが生き生き働ける職場つくりのために」滋賀医科大学医学部附属病院 精神看護専門看護師 光岡由紀子氏

- 出前講座「スペシャリストに学ぶ」:9月~12月各日 7施設と調整予定

重点2. 働き続けられる職場環境づくりの推進

- 看護ネットと協賛し研修会を企画:1月開催予定

重点3. 地域看護力の向上

- 年2回 支部だよりの発刊:「地区支部活動の報告」「看護ネットの活動」など第1地区支部内の活動をご紹介します

重点4. 組織力の強化

- 10月19日④ 大津健康フェスティバルに参加:「大津の保健室」として市民向けに、BLS・AED講習。子ども向けに、白衣体験を実施
- わたSHIGA輝く国スポ・障スポリハーサル大会協力



第2地区支部

支部長/北尾 知恵子

【活動計画】

1. 研修会(年3回実施)

- 第1回目(6月):中堅職員のためのストレスマネジメントと題し実施。新入職員を受け入れた側のメンタルヘルスケアについて研修会を実施。

- 第2回目(11月頃) ケアマネージャーから見た多職種連携、地域と病院をつなぐ(仮)テーマで実施予定。

- 第3回目(2月頃)「看護をつなぐコアネット」と共催にて実施予定。



2. 看護職確保に向けた取り組み

11月に希望ヶ丘の秋祭り(フリーマーケット)に出店し一般市民に向けての看護職PR、かんどちゃんの参加予定。

3. 支部内の専門・認定看護師のリソース活用と出前講座の実施。

第2地区支部(湖南圏域)は、施設も多岐に渡り、多くの人材や施設の役割が明確になっていることでのメリットも多い。しかし規模が大きい故の、情報共有、連携に向けた課題もあり、強化していく必要がある。



第3地区支部

支部長/大西 明子

第3地区支部は甲賀湖南圏域にあり、滋賀県看護協会の中でも協会会員数が少ない支部になります。そのため、会員数増加を目指し、以前から「顔の見える関係」が作れるように、座学だけではなく、地域の看護の魅力推進事業・健康啓発事業への参加や、スポーツ交流会事業などに取り組んでいます。令和7年度も、看護職員人材確保イベントやスポーツ交流会を計画しています。

地区支部の取り組み課題として、研修会などへの参加人数が伸びないこと、認定看護師による出前講座の依頼が少ないことが課題であるため、広報活動の工夫をするとともに、これからも支部会員の皆さんに望まれ、参加しやすい研修会を企画・運営していきたいと考えています。



災害支援研修



フットサル交流会

第4地区支部

支部長/奥村 茂

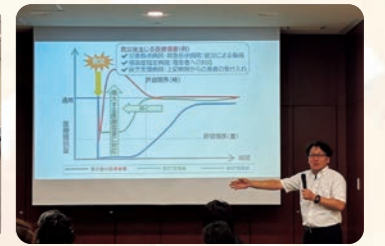
第4地区支部では今年度、看護職の定着と看護実践能力の向上を目指し、看護の力で地域住民の安心安全な生活を支えられるよう活動していきます。

【令和7年度の活動】6/28に定期集会・研修会(災害研修パート1:平時の災害体制について学ぼう)を開催し、42名の方に参加していただきました。7/9の東近江圏域看護職ネット会議には、病院・訪問看護ステーション・行政の各領域から37名の出席をいただき、情報共有・意見交換を行いました。今後の主な活動として、8/30には研修会(災害研修パート2:受援体制について考えよう)を開催。11/9:東近江市健康フェア2025への参加。11月~12月:地域包括ケアフォーラムの開催を予定しています。

会員の皆様、今後とも地区支部活動へのご支援とご協力をお願いいたします。



看護職ネット会議



研修会

第5地区支部

支部長/藤田 晶子

【第5地区支部重点取り組み課題と活動計画】

第5地区支部では、地区支部の連携強化と看護力の向上を目指し活動を行っています。

【重点事業1】①9月:研修会「ファシリテーションスキルを学ぼうー語りを支える進行の基本」②12月:出前講座「せん妄を最小に抑える看護(案)」

【重点事業2】7月5日:地区支部活動報告・研修会では、日常のより良い関係性づくりを学ぶ「コミユカッ?」をテーマに研修会を開催(参加者48名)。異業種を講師に迎え、コミュニケーションの重要性を改めて考える機会となった。

【重点事業3】令和8年2月:全世代型地域包括ケア推進フォーラム「ナラティブ」

【重点事業4】11月:まちの保健室 聖泉大学「万聖祭」に出展し、手洗いチェック・指導

今後も引き続き、第5地区で働く看護職が自分の仕事に誇りを持ち、お互いの強みを活かした連携で、いきいきと働き続けられる第5地区を目指し、看護ネットと連携しながら活動して参りますのでよろしくお願ひします。

第6地区支部

支部長/伊藤 雅子

第6地区支部では、地域の様々な繋がりを活用して看護職の機能と役割を発揮する、さらに看護ネットと共同し、看護職(病院・施設・在宅)の交流と相互理解の機会を設け施設間の連携を強化し地域の看護力向上を目指した取り組みを実践していきます。

1) 第1回研修会 6月28日④開催(参加者77名)/語り:今の私の原動力~忘れられない経験エピソード~、地域の様々な場所で活躍する方5名の講演

2) まちの保健室/①自宅でもできる転倒予防体操 7月24日④(参加者19名) ②高齢者・認知症を患う人を支える家族への心身ケア 10月23日④予定

3) 第2回研修会 12月6日④予定/感涙療法士による講演、ストレスマネジメント:看護職のストレス緩和

4) 湖北圏域看護職連携会議・事例検討会(4回/年)

5) 出前講座(専門性の高い看護師を、地域のリソースとして活用)



【重点事業1】

6月28日令和7年度地区支部集会と滋賀県地域医療連携法人高島看護部会共済研修を実施。「生涯学習支援ガイドラインについて」と「看護協会と地域看護ネットについて」を実施。

8月7日高島保健所・滋賀県病院協会と共催の事業として、「フィードバックカンファレンスをやってみよう」をテーマに入退院支援にかかる病院・介護支援専門員合同研修会を実施。今津病院からの心不全高齢患者の在宅退院後再入院事例をもとにグループワークを行った。より患者の在宅に向けた具体策が検討のためには、早期に在宅チームが介入しその中には、地域薬剤師の関与も必要であるという意見があった。

【重点事業3】

7月23日村田裕子糖尿病認定看護師により、市内訪問看護師に対して「マルチモビリティのケア~包括的な視点から血糖コントロールを考える~」をテーマに出前講座を実施。今年度出前講座は7講座実施予定であり、認定等看護師の活躍と地域看護力の向上につながっている。

令和7年度今後の予定は、9月19日2年目研修、10月17日4年目研修そして11月21日に地域ケアフォーラムを、そして3月には例年通り看護研究・活動発表会開催予定。是非積極的な参加いただき、地域看護職員の繋がりの場としていただきたいと思います。よろしくお願ひします。



入退院ルールの研修

認定看護管理者教育課程 ファーストレベルでの学び!!

介護老人保健施設パストラールとよさと 玉城 邦明

看護管理者として必要な基礎知識や実践力を講義で学ぶことが出来ました。中でも『4つの目』で考える「現場を細かく見る虫の目」「全体を俯瞰する鳥の目」「時代の流れを読む魚の目」「視点を変えて考えるコウモリの目」が重要である事を理解しました。

統合演習では、自部署の現状と問題について、グループで話し合い共有しながら現状分析をすすめました。あるべき姿を考
える中で、初めは問題として捉えていたものが事象である事に気づき、メンバーや講師の助言を貰いながら、真の問題や課題に対する解決策を学ぶプロセスとチームビル

ディングの重要性を肌で感じる事が出来ました。
終盤は、レポート提出と統合演習発表の提出期限が重なり大変な思いをしましたが、提出期限を守る事で成し遂げた時の達成感はとても充実したものになりました。
最後になりましたが、研修でご支援いただいた講師の方々、看護協会の皆様、メンバーに深く感謝しています。この経験を活かし、自施設の発展と看護の質向上に貢献したいと思います。



令和7年6月17日～7月18日 共に学んだ73名

Voice

これからの看護職に期待すること

彦根市立病院 川島 彩

令和7年7月26日・27日に琵琶湖で開催された「鳥人間コンテスト」に、救護班の看護師として参加しました。全国から集まった人々が、自ら作り上げた飛行機で湖面を飛ぶ姿は、テレビで見るのとは全く異なる迫力と臨場感があり、会場は早朝から大いに盛り上がっていました。

当院からは医師と看護師が参加し、会場内の2か所に設置された救護所に分かれて活動しました。私はプラットフォーム近くの救護所を担当し、飛行直前の緊張感や着水時の安堵の表情を間近に感じながら救護にあたりました。

炎天下で長時間にわたる開催であったため、



熱中症の発生が懸念されましたが、会場では定期的に水分補給のアナウンスが行われ、観客も帽子や日傘を使用するなど、予防への意識が高く見受けられました。その結果、軽度の体調不良はあったものの、幸い大きな事故や重症者はなく、無事に大会を終えることができました。現場での迅速な対応と、事前の予防策の徹底が功を奏したと感じています。

競技の魅力はもちろんのこと、イベントの一員として活動できたことは、私にとってかけがえのない貴重な経験となりました。今後も今回の学びを活かし、このようなイベント医療活動に積極的に関わっていきたく考えています。

身体的拘束最小化 ケアの力で身体拘束ゼロを目指そう!!

令和6年度、診療報酬改定に伴い、精神科病棟を除く身体的拘束の最小化に向けた取り組みが義務化されました。

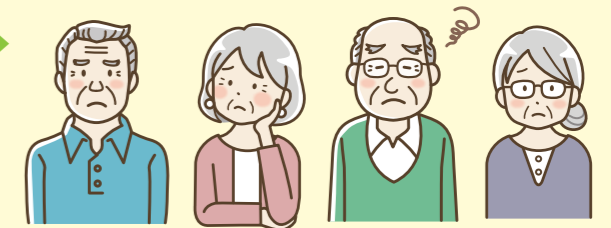
身体的拘束とは

- 患者の行動を制限する行為

リスクと影響

- 筋力低下
- 不安、混乱、抑うつが増強
- 人権の侵害

高齢患者には マイナス面がとても多い



身体だけでなく言葉でも拘束していませんか?

スピーチロックとは

…高齢者や認知症の方に対し、言葉によって行動を制限すること

- やめて
- 早くして
- 家には帰れません
- 動かないで
- ダメでしょ
- 座って

- それは危ないので他の事をしましょう
- 急がなくても大丈夫ですよ
- 帰れるようになったらいいですね
- どこに行かれますか
- どうされましたか
- どこに行きたいですか

こういった言葉は患者の行動をさえぎります

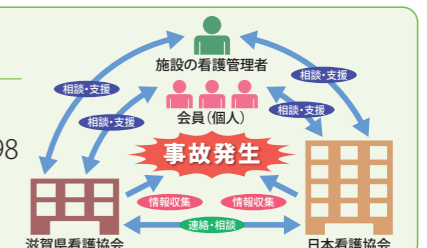
こう言いかえるだけで相手の興奮や混乱を落ち着かせる効果があります

スピーチロックをやめることは、 身体的拘束最小化に役立ちます



医療安全相談窓口

- 受付時間：9時30分～16時（平日のみ）
- 場所：滋賀県看護研修センター内 TEL.077-564-6468 / FAX.077-562-8998
- 担当：看護協会長・常務理事・医療安全推進委員（適宜）
- 方法：電話相談・来訪相談・FAX相談





感染症管理認定看護師より

新型コロナウイルス5類移行後の 感染症対策Q&A

仁生会甲南病院 感染対策管理部 長野建太郎

Q医療機関での感染者の隔離期間は何日間が適切でしょうか。

A 国立感染症研究所のデータによれば、感染力のあるウイルスを排出する患者の割合は、発症日を0日目として8日目（7日間経過後）で15%程度、11日目（10日間経過後）で4%程度となります。当院では、ウイルス量が大きく減少する5日間を隔離期間とした時期がありましたが、隔離解除後に同室患者への二次感染が疑われる事例がありました。そのため隔離期間を7日間に延長し、その後は二次感染が疑われる事例が発生していません。理論上10日間が感染拡大を防ぐための適切な期間かと思いますが、各医療機関の感染対策水準や、ベッドコントロールの状況等を考慮して決めて頂くことが良いと思います。

Q5類移行後もPPEは装着すべきなのでしょうか。

A 新型コロナウイルスに限らず、すべての感染症において

PPEの装着は必須です。コロナ流行当初は、未知の感染症として対応の困難さがありましたが、現在は主な感染経路が飛沫感染とエアロゾル感染と判明しています。この二つの感染経路に重要なPPEはマスクです。また、呼吸器症状があったり、エアロゾル発生リスクが高い処置においてはN95マスクの装着が必要です。ガウンや手袋は接触感染予防なので、患者さんに触れる時や、身体介助が必要な場合に装着しましょう。5類に移行してもウイルス自体の感染力は変わらず強いです。まず感染症の感染経路を理解し、それぞれの経路別予防策を実施することが重要です。

Qコロナ流行期は多くの医療機関で無症状者を含む入院時スクリーニング検査が行われていましたが、現在の必要性を教えてください。

A 当院では5類移行後、有症状の患者さんのみ抗原検査を行っています。コロナ流行期は無症状を含むスクリーニ

ング検査を行っていました。たしかに無症状の患者さんが陽性になることもありました。しかし一定数持ち込みで入院後に発症した患者さんがいたり、全く感染経路が不明な院内感染もありました。スクリーニング検査は一定の効果はありますが、完璧に防ぐことは困難です。ですので患者さんの身体的負担、職員の業務負担、ランニングコスト等も考慮して無症状者のスクリーニング検査の必要性は低いと考えます。重要なのは、院内感染拡大を防ぐために平時の感染対策水準の維持、向上と早期発見です。

Q病院内でのマスクの着用は今でも必要なのでしょうか。

A 結論、患者さんにはマスクをしてもらい、医療者は患者対応時にマスクを装着する必要があります。当院では、コロナ流行前はインフルエンザの流行期のみマスクの着用

を必須としていました。コロナ流行期はユニバーサル・マスク着用が推奨され、令和5年3月からはマスクの着用は個人の判断が基本となりました。しかし医療機関では重症化リスクの高い方が多く入院されているので、勤務中のマスク着用が厚生労働省からも推奨されています。飛沫感染はコロナだけではなく、インフルエンザや風疹、流行性耳下腺炎、百日咳、肺炎球菌などがあります。医療機関を受診される患者さんそれぞれのマスク着用の必要性を判断するのは現実的ではありません。接触感染を防ぐための手指衛生に加え、飛沫感染を防ぐためのマスク着用はマストな対策と考えます。ただ、患者さんに関わらない場面での医療者のマスク着用の緩和は検討する余地があると思います。

看護師が知っておくべき冬季に流行する感染症対策

■インフルエンザ感染症

インフルエンザは例年12月頃から流行し始め、1～3月頃にピークを迎えていましたが、コロナ流行以降その傾向に変化が見られています。

2024-2025シーズンでは10月下旬には定点当たりの感染者数が1.0を上回り、12月中旬頃には感染者数がピークを迎えました。ですのでワクチン接種や検査体制、発熱患者のトリアージ等の対応を早期から整備する必要があります。また患者対応に関しては前述のQ&Aにも示したとおりPPE装着が必要です。

毎年新入職者研修にて全職種にPPEの装着を練習していただいています。全ての医療者が経路別予防策を実践できるようにマニュアルの確認と周知を行うことが重要です。またインフルエンザは接触予防策も必要ですので院内感染拡大を防ぐには手指衛生が重要です。

当院ではICTによるラウンドを実施したり、毎月各部署の手指消毒回数を報告し、目標値や改善策を協議しています。スタッフ全体の尽力により昨年の冬季はインフルエンザのアウトブレイクが発生することはありませんでした。

院内感染拡大を防ぐには患者さんの適切な配置もポイントです。原則個室管理、またはコホーティングが望ましいです。そして大部屋で発生した場合は、同室患者さんの症状出現に注意する必要があります。

インフルエンザは潜伏期間が1～3日なのでその間に発熱や呼吸器症状が出現するようであれば積極的に検査を検討しましょう。

医療者自身が感染しないことももちろん重要ですので、適切なPPEの取り扱いと手指衛生の徹底、自己の体調管理に気を付けることも大切です。



滋賀県ナースセンター

SHIGA NURSE CENTER



滋賀県ナースセンター
公式キャラクター
いっぽぼナー

開催しました



新人交流会 6月16日～20日(5日間) / 503名が参加
今の頑張りやこれからの目標を語り合いました。協会の活動やナースセンターの利用についても理解していただきました。



魅力配達 年間通して開催
8月までに中学校3校、高校18校に看護の魅力をお伝えしました。9月以降も中学校2校、高校8校、小学校1校を予定しています。



1日看護体験 7月末～8月中旬 / 協力医療機関にて開催
県内62校422名の中高生が参加しました。各施設で看護を体験する貴重な機会となりました♪

就職説明会

7月27日@ / グリーンホテルYes近江八幡にて開催
参加された求職者のみなさんから「駅から近くで来やすかった」「直に施設の担当者と話せてよかった」「圧迫感がなく気軽に話がきける雰囲気だった」との声がありました。猛暑の中での参加ありがとうございました。



すまいるあくしょんフェスタ2025 8月11日@ / 守山市民ホールにて開催
子どものための体験型フェスタ。155名のお子さんに、看護のわくわくを感じてもらうひとときとなりました♪



健康SHIGAマルシェ 8月31日@ / イオンモール草津にて開催
健康啓発として「親子で楽しむ健康イベント!」を開催しました。手洗い体験、血管年齢測定、ぬりえに220名が参加されました。

これからの予定

- 毎月開催…… 復職支援研修(採血注射技術演習・eラーニング視聴研修)
- 11/13…… AM: 看護補助者お仕事説明会 / PM: 再就業チャレンジ交流会【ハローワーク彦根】
- 12/9・10・11… 3年目看護職員研修会
- 12/17…… プラチナナース研修会
- 1/13～…… 復職支援研修(第3回リスタートナースサポート研修)
- 1/14…… 看護職確保に関する管理者研修会
- 2/4…… 看護補助者研修会
- 2/19…… ワーク・ライフ・バランス推進研修会
- 2/25…… 合同就職面接会

はたさぼ通信

7月18日@に第1回目の交流会を終えました。この研修が一人ひとりのポートフォリオに保存されるだけでなく、この先のリスタートや就業継続の糧にいただければと思います。

今回は、受講生の感想の一部を紹介したいと思います。再チャレンジを迷われておられる方、これを機に受講してみませんか。

研修参加前は看護師経験が浅いことに劣等感があり、就職活動をするうえで医療行為のない施設や看護師ではない仕事を探していました。しかし、研修に参加したことで看護師としてもう一度チャレンジしたいという気持ちが大きくなりました。



講義や演習を通じて参加者の方との意見交換もとても楽しく、同じ境遇の方や看護師の先輩方から就職活動に対するアドバイスや励ましをいただき、看護師としての意欲に繋げることができました。(A・K)



年齢も職歴も居住地も様々でしたが、逆に色々と情報交換ができたのが有意義でした。

演習では、多くのシミュレーターを準備して下さったので何度も繰り返し手技を行い、習得をスムーズに行うことができ自信にも繋がりました。講義では各々の看護の現場のプロフェッショナルの先生が貴重な話をしてくださり経験のない看護の実態を知ることができ、再就職への展望も広がったと思います。

また、実習では病棟で働いていた頃を鮮明に思い出す瞬間がありました。また、患者ファーストで最善の方法を看護師同士で相談されているのを見た時は、私が看護師を目指した看護像がよみがえってくるような感覚を覚えました。

今回の研修前に応募を悩んでいた自分が思い切って参加したことで、再就職に向けて前向きになれたことは講師の先生方、実習先の諸先輩方のおかげです。感謝の気持ちを忘れずにこれからの看護師としての人生を邁進していきたいです。(N・K)



お問合せ先

- 滋賀県ナースセンター…TEL.077-564-9494 / FAX.077-562-8998
フリーダイヤル ☎ 0120-22-9494 (祝祭日除く月～金9:00～17:00)
- 彦根サテライト……………TEL.0749-30-1235 / FAX.0749-30-1233
- E-mail:nurse-center@shiga-kango.jp

詳細は
ホームページを
ご覧ください

